SONY

4-140-001-**01**(1)

ウォータープルーフケース

マリンパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MPK-THGB

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する**

❶電源を切る
❷ソニーの相談窓口に相談する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号
禁止

行為を指示する記号
注意

警告 下記の注意事項を守らないと、事故により**死亡**や**大けが**の原因となります。

潜水中の使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う
注意を怠ると、潜水事故の原因となります。（注意）

万一、マリンパックに水漏れが発生した場合
あわてず身体に影響がないように、浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。（注意）

下記の注意事項を守らないと、**けが**をすることがあります。

衝撃を与えない
ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

主な特長

- このマリンパック（以下**本機**とする）はソニーのデジタルスチルカメラ（以下**カメラ**とする）DSC-T700/T90/T77専用です。（対象のカメラはすべての国または地域で取り扱いをしているわけではありません。）
- お手持ちのカメラに本機を取り付けると、海辺（水中では水深40m以内）また雪や雨などの悪天候時での撮影ができます。
- カメラを（水中）または（水中）に設定し、本機をお使いになると、水中をきれいに撮影できます。（（水中）に対応していないモデルがあります。）

取り扱い上の注意

- フロントガラスに強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上での本機の開閉はできるだけ避けてください。カメラの取り付けや"メモリースティック デュオ"交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- 本機を水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40℃を越える温水の中
  - 0℃以下の場所

  結露、水漏れは、カメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35℃を超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- 本機に長時間収納して使用していると、カメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、カメラを本機から取り出してください。
- カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。再度撮影するには、涼しい場所に放置してカメラの温度を下げてください。

Oリング（オーリング）のはずれやはさみ込み、ゴミの付着などがあると、水中で水漏れがおきます。
必ず確認したあとに、ご使用ください。
詳しくは、Oリングメンテナンスマニュアルをお読みください。

本機にサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、本機表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

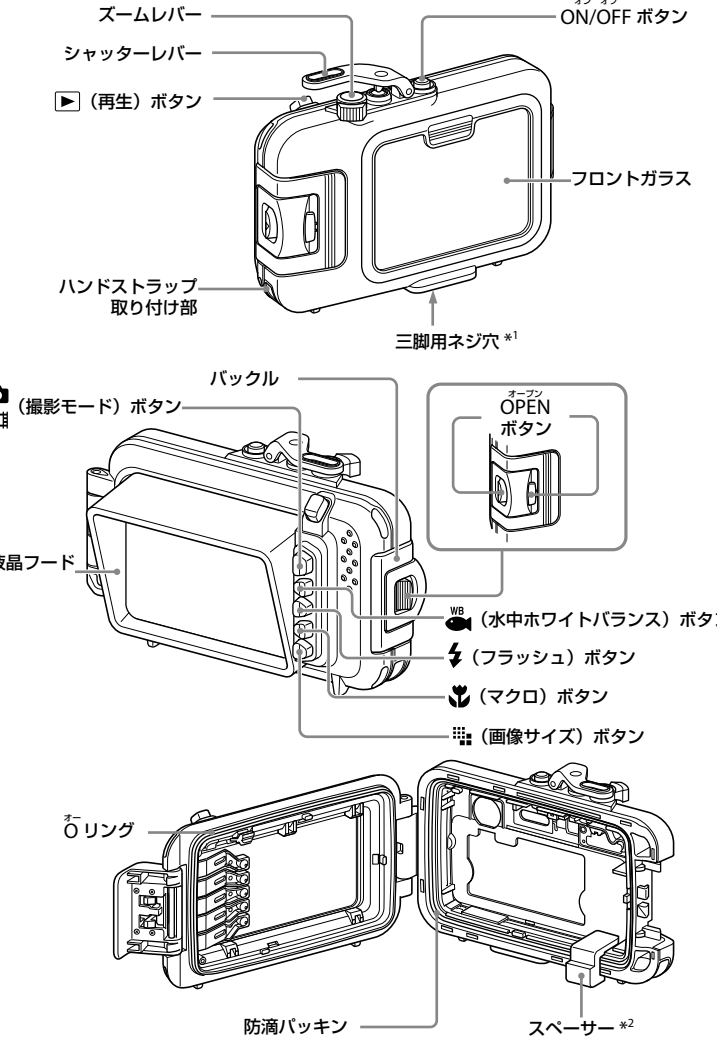
水漏れについて

万一本機内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。
カメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

フロントガラスのくもり止めについて

- カメラの取り付けは湿気の少ない室内などで行ってください。
- 付属の乾燥剤を撮影の1 ～ 2時間前に入れてください。
- 未使用の乾燥剤は袋に入れ、入り口を密封して保存してください。乾燥剤は充分に乾燥させることにより、繰り返し約200回使用することができます。

各部の名前

ズームレバー
シャッターレバー
▶（再生）ボタン
ON/OFF ボタン
フロントガラス
ハンドストラップ取り付け部
三脚用ネジ穴 *1
バックル
（撮影モード）ボタン
OPENボタン
液晶フード
（水中ホワイトバランス）ボタン
（フラッシュ）ボタン
（マクロ）ボタン
（画像サイズ）ボタン
Oリング
防滴パッキン
スペーサー *2

*1 三脚を使うときは、ネジの長さが5.5mm未満のものをお使いください。
ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。
*2 本機をご使用になるときは取りはずしてください。

お使いになる前に必ずお読みください

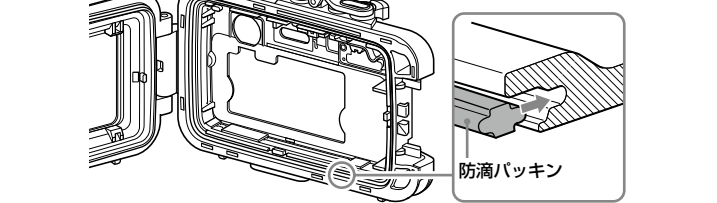
- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、カメラが正常に作動するか、また本機に水漏れがないかを確認してから、潜水を開始してください。
- 万一本機の不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（カメラ、バッテリーなど）の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。

Oリング／防滴パッキンについて

Oリングについて

本機はOリングを使用して防水性を保っています。詳しくは、別冊のOリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。
Oリングの取り扱いかたが不適切だと水漏れの原因になります。

防滴パッキンについて

防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。防滴パッキンの浮き、はさみ込みは水漏れの原因となります。
万一、防滴パッキンがはずれた場合は、ねじれないように注意して取り付けてください。

Oリングと防滴パッキンの耐用年数

Oリング
本機の使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。

防滴パッキン
防滴パッキンに傷・ヒビが見つかったら交換してください。

交換後に、水漏れしないことを確認してください。

グリスについて

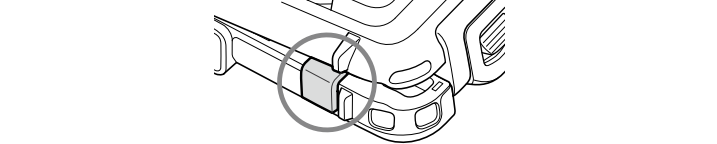
グリスは付属の青いチューブのグリスをお使いください。黄色いチューブのグリスや他社のグリスを使うと、Oリングを傷め、水漏れします。

お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- 本機内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れは本機をご使用のたびに必ず行ってください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

- Oリングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。
- スペーサーを無くさないように保管してください。

- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- Oリングにグリスを薄く塗って溝に入れ、風通しのよい涼しいところに保管してください。バックルは締めないでください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

主な仕様

材質
プラスチック（PC、ABS）、ガラス

防水構造
Oリング、バックル

耐圧
水深40 mまで

外部より操作可能なスイッチ
ON/OFF（電源）、シャッター、再生、ズーム（W/T）、撮影モード、水中ホワイトバランス、フラッシュ、マクロ、画像サイズ

外形寸法（最大突起部を除く）
約134×94×38 mm（幅／高さ／奥行き）

質量
約280 g（本体のみ）

同梱物
ウォータープルーフケース（1）
ハンドストラップ（1）
液晶フード（1）
フロントアタッチメントC（DSC-T90/T77用）（1）*
リアアタッチメントC（DSC-T90/T77用）（1）*
* お買い上げ時にウォータープルーフケースに装着されています。
フロントアタッチメントB（DSC-T700用）（1）
リアアタッチメントB（DSC-T700用）（1）
グリス（1）
Oリング（1）
乾燥剤（2個入り）（1）
スペーサー（1）
印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
●型名：MPK-THGB
●故障の状態：できるだけ詳しく
●お買い上げ日

別売アクセサリー
アームキット：VCT-MP1K
水中ビデオライト：HVL-ML20M
（アームキットVCT-MP1K、"インフォリチウム"（Mシリーズ）バッテリー、（バッテリーチャージャー）との併用が必要です。）
Oリングキット：ACC-MP101
（パッケージ上の、101 O-Ring このアイコンをご確認のうえお求めください。）
*Oリング、グリスは下記の相談窓口でもお求めになれます。

Oリング、防滴パッキン、グリスについて
ご購入はソニーの相談窓口にご相談ください。
ご購入されるときは、品名、番号をご連絡ください。

Oリング（番号4-115-566-0□）
防滴パッキン（番号4-141-293-0□）
グリス（番号2-582-620-0□）

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

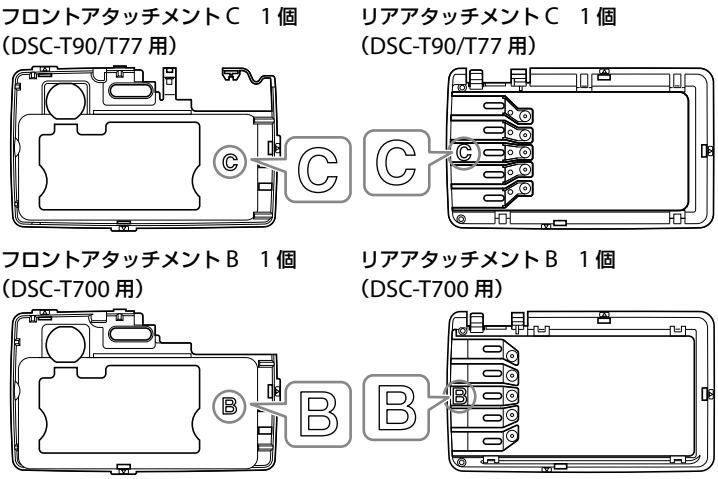
準備

アタッチメント形状

フロントアタッチメントC　1個
(DSC-T90/T77用)

リアアタッチメントC　1個
(DSC-T90/T77用)

フロントアタッチメントB　1個
(DSC-T700用)

リアアタッチメントB　1個
(DSC-T700用)

マリンパックの準備

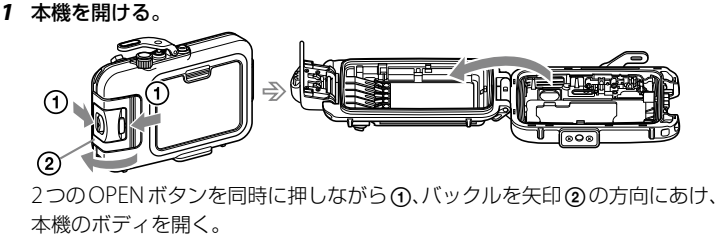
アタッチメントを取り換える

* お買い上げ時は、DSC-T90/T77用にアタッチメントCを取り付けてありますので、DSC-T90/T77をお使いのかたは以下の手順は不要です。

必ずカメラに対応したアタッチメントを取り付けてください。
カメラの故障や水漏れの原因になります。

1 **本機を開ける。**

2つのOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にあけ、本機のボディを開く。

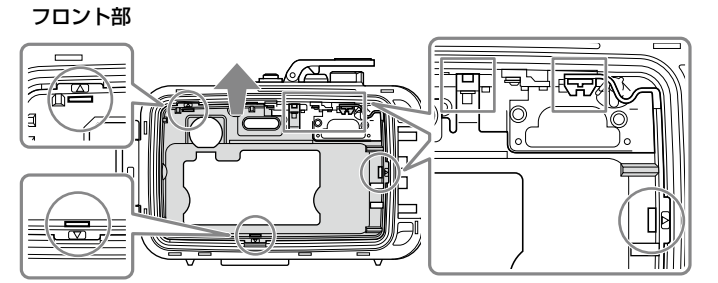
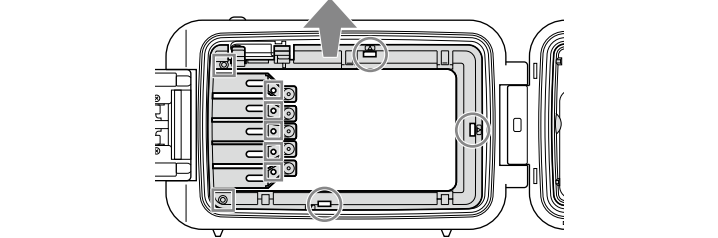
ご注意

スペーサーは、本機を保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

2 **アタッチメントを取り換える**

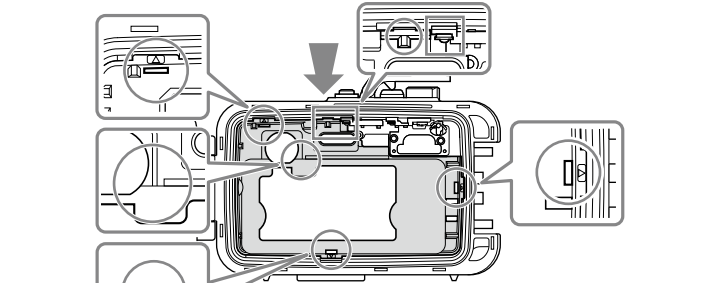
● DSC-T90/T77用のフロントアタッチメントC、リアアタッチメントCを取り外す

フロント部

図の□印部分(2箇所)をはずし、○印部分(3箇所)を引き上げてください。

リア部

図の□印部分(7箇所)をはずし、○印部分(3箇所)を引き上げてください。

● DSC-T700用のフロントアタッチメントB、リアアタッチメントBを取り付ける

フロント部

図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりはめ込んでください。
アタッチメント交換後、正常に操作できるか確認してください。

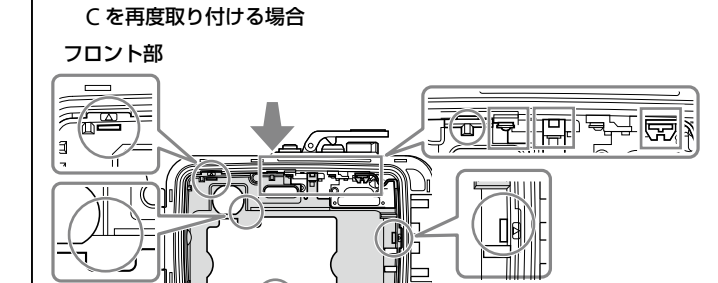
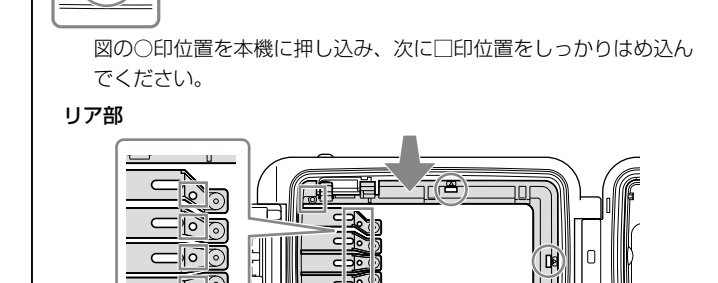
リア部

図の○印位置をしっかり押し込んでください。
アタッチメント交換後、本機の操作ボタンを数回押して正常に動作するかご確認ください。

● DSC-T90/T77用のフロントアタッチメントC、リアアタッチメントCを再度取り付ける場合

フロント部

図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりはめ込んでください。

リア部

図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりはめ込んでください。

* アタッチメントをはずして保管する場合は、変形させた状態で保管しないでください。

Oリングと防滴パッキンの準備

1 **Oリングを取りはずす。**

2 **Oリングにグリスを塗る。**
Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗る。

3 **Oリングを取り付ける。**

4 **防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。**

ご注意

- 防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。
- 砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。
Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

デジタルスチルカメラの準備

カメラを本機に取り付けて使用するには、カメラの[ハウジング]設定を[入]にする必要があります。詳しくは、下記の手順4をご覧ください。

カメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所での本機の開閉は、本機前部のくもりの原因となります。

カメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **カメラのストラップをはずす。**

2 **バッテリー、"メモリースティック デュオ"を入れる。**
充分に充電してあるバッテリーを入れてください。
充分に容量のある"メモリースティック デュオ"を入れてください。

3 **レンズカバーを下げ、電源を入れる。**
レンズカバーを下げるときは、レンズに触れないように注意してください。

4 **HOMEのカテゴリー内(設定)をタッチし、ハウジングを「入」にする。**
ハウジングが「入」になっていることを確認する。

- 設定後、カメラの使える機能が制限されます。
  外部ボタンと、液晶画面の下記のボタンの機能のみです。
  撮影モード：「HOME」、「MENU」、「撮影モード」、「水中ホワイトバランス」、「フラッシュ」、「マクロ」、「画像サイズ」
  再生モード：「HOME」、「MENU」、「削除」、「ワイドズーム」、「一時回転表示」、「動画再生/停止(動画再生時)」、「画送り」、「画戻し」
- 本機取り付け後は、「HOME」、「MENU」ボタンは使用できません。

ハウジングの設定方法

HOME → (設定) → [本体設定] → OK → [ハウジング] → OK → [入] → OK

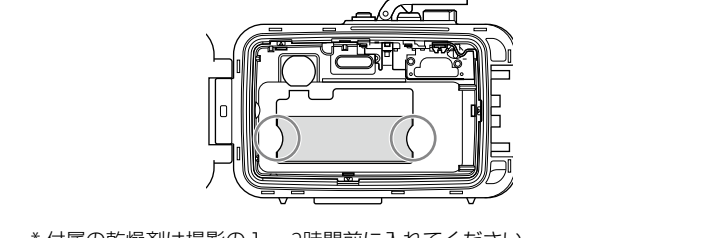
ハウジングが「入」になっていることを確認し、「BACK」、×をタッチしてください。
画面上にハウジングが表示されていることを確認してください。

5 **レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。**

ご注意

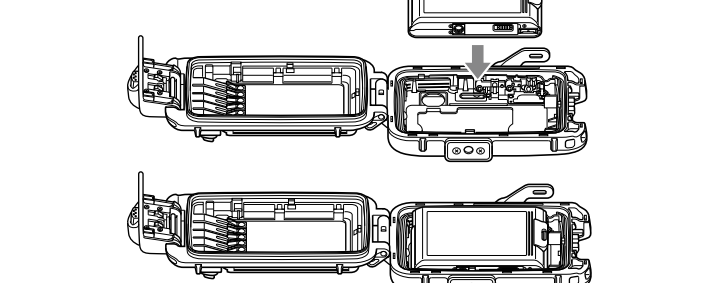
AFイルミネーターは使用できません。
ハウジングモードに設定すると、自動的にAFイルミネーターが「切」の状態になり使用できなくなります。

デジタルスチルカメラをマリンパックに取り付ける

1 **乾燥剤を取り付ける。**
本機フロント部の乾燥剤スペースに乾燥剤を置き、フロントアタッチメントの○部分で押さえる。

* 付属の乾燥剤は撮影の1～2時間前に入れてください。

2 **カメラのON/OFF(電源)ボタンで電源「OFF」にする。**

3 **本機にカメラを取り付ける。**

カメラのレンズカバーは下げた状態にしてください。レンズカバーが上がった状態で無理に本機を閉じようとすると故障の原因になります。
カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。

カメラが正しく入っているか確認してください。

4 **ボディを閉じて、バックルを締める。**
ボディをしっかり押さえ、バックルがカチッとロックされるまで押してください。

ご注意

本機のボディを閉じるとき、Oリングの表面と本機の溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。上記のような異物をはさみ込むと、水漏れの原因となることがあります。

付属品を取り付ける

ハンドストラップを取り付ける

ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。

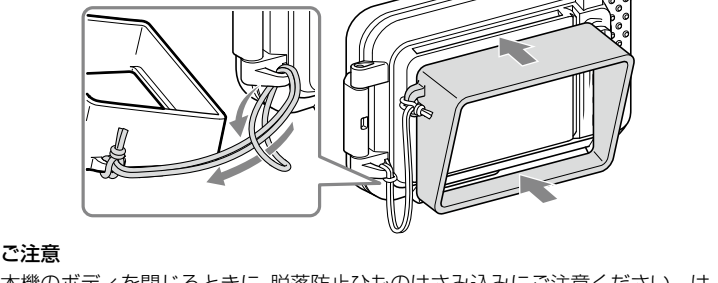
ご注意

本機のボディを閉じるときに、ハンドストラップのはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因になることがあります。

液晶フードの取り付け、取りはずしかた

取り付けかた

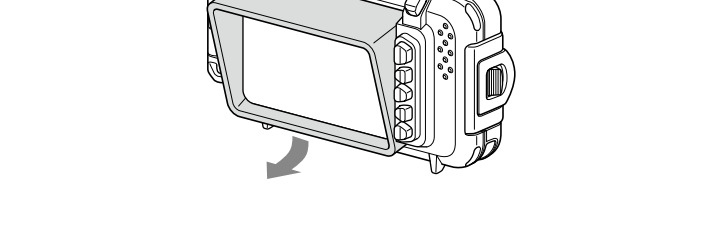
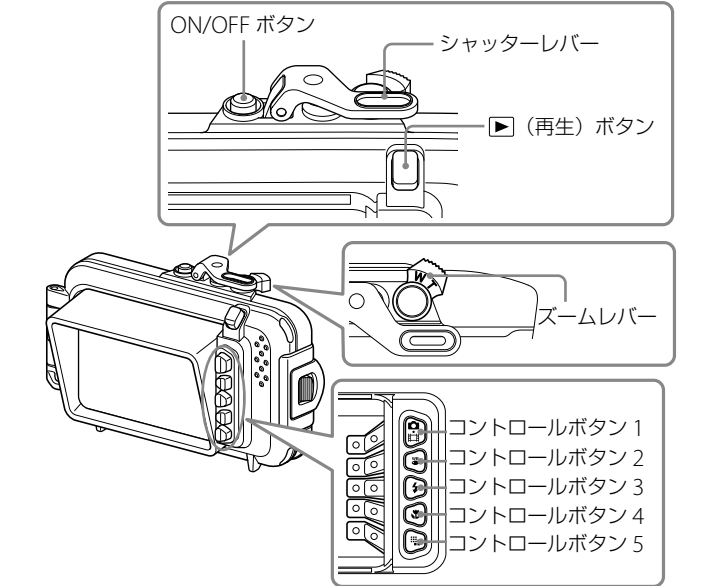
1 **付属の脱落防止ひもを取り付けてください。**

2 **図のように液晶フード取り付け用のガイド凹部にあわせて強く押し込みます。**

ご注意

本機のボディを閉じるときに、脱落防止ひものはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

取りはずしかた

液晶フードを外に広げるようにして、ガイドから取りはずします。

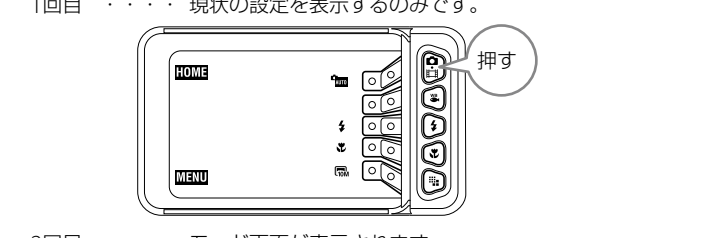
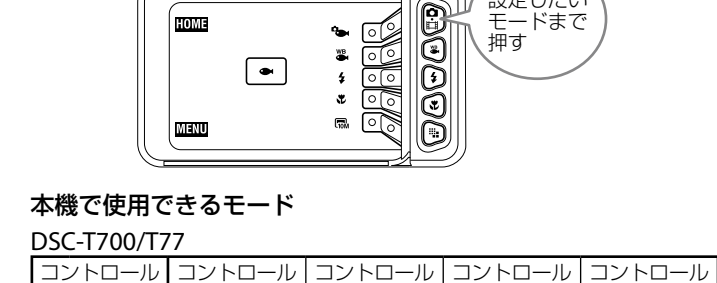
マリンパックを使う

撮影する

1 **電源を入れる。**

2 **撮影状態を設定する。**
本機のコントロールボタンを押し、各撮影状態を設定します。

コントロールボタンの操作方法

コントロールボタンを押すときは、ゆっくり押してください。

画面上のアイコン表示

1回目　・・・・　現状の設定を表示するのみです。

2回目　・・・・　モード画面が表示されます。
設定したいモードが画面にでるまで、繰り返し押してください。
画面中央で、設定内容が確認できます。

本機で使用できるモード

DSC-T700/T77

コントロールボタン1	コントロールボタン2	コントロールボタン3	コントロールボタン4	コントロールボタン5
(撮影モード)	(水中ホワイトバランス)	(フラッシュ)	(マクロ)	(画像サイズ)
(オート)	–	AUTO(オート) (発光禁止)	AUTO(オート) (マクロ入) (拡大鏡入)	すべて使えます
(水中) *1	(オート) 1(水中1) *2 2(水中2) *2 WB(フラッシュ)	(強制発光) (発光禁止)		
(ビーチ) (スノー)	–	(強制発光) (発光禁止)	AUTO(オート) (マクロ入)	
(動画撮影) *3		–		

*1 水中での撮影は、(水中)での撮影をおすすめします。
*2 1(水中1)、2(水中2)は、フラッシュが発光禁止のときのみ設定可能です。1(水中1)、2(水中2)に設定されているときにフラッシュを強制発光にすると、水中ホワイトバランスは(オート)になります。
*3 動画撮影については、カメラの取扱説明書もご覧ください。

DSC-T90

コントロールボタン1	コントロールボタン2	コントロールボタン3	コントロールボタン4	コントロールボタン5
(撮影モード)	(水中ホワイトバランス)	(フラッシュ)	(マクロ)	(画像サイズ)
iAUTO(おまかせオート撮影)	–	AUTO(オート)*4 (強制発光)*4 (発光禁止)	AUTO(オート) (拡大鏡入)	すべて使えます
(水中) *1	(オート) 1(水中1) *2 2(水中2) *2	(強制発光) (発光禁止)	AUTO(オート) (マクロ入) (拡大鏡入)	
(ビーチ) (スノー)	–	(強制発光) (発光禁止)	AUTO(オート) (マクロ入)	
AUTO(オート) *3		–	–	
(水中) *1、*3	(オート) 1(水中1) *2 2(水中2) *2			

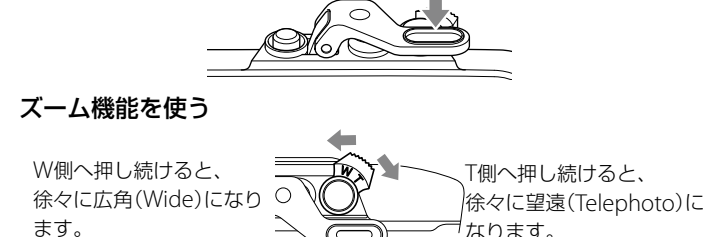
*1 水中での撮影は、(水中)、または(水中)での撮影をおすすめします。
*2 1(水中1)、2(水中2)は、フラッシュが発光禁止のときのみ設定可能です。1(水中1)、2(水中2)に設定されているときにフラッシュを強制発光にすると、水中ホワイトバランスは(オート)になります。
*3 動画撮影については、カメラの取扱説明書もご覧ください。
*4 AUTO(オート)撮影時は(強制発光)には設定できません。また、(拡大鏡入)撮影時にはAUTO(オート)には設定できません。

水中ホワイトバランス選択

(水中)または(水中)時の色合いを調整します。

(オート)	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
1(水中1)	青色の強い水中に合わせる。
2(水中2)	緑色の強い水中に合わせる。
WB(フラッシュ)*	水中でのフラッシュ光に合わせる。

* DSC-T90にはありません。
カメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

3 **シャッターレバーを押して撮影する。**

ズーム機能を使う

W側へ押し続けると、徐々に広角(Wide)になります。

T側へ押し続けると、徐々に望遠(Telephoto)になります。

ご注意

- 撮影一時停止状態が一定時間続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 本機でフラッシュ撮影を行なう場合、状況によっては撮影距離が短くなることがあります。その際は、水中ビデオライト HVL-ML20M(別売)の使用をおすすめします。
- カメラの拡大鏡モードでは、本機内のガラス面のほこりやゴミにピントが合うことがあります。その際、ガラス面のほこりやゴミを取り除いてください。
- 動画撮影時は、音声を正常に記録することはできません。
- (水中)は動画に対応していません。水中動画対応モデルでは(水中)で水中動画を撮影することができます。

再生する

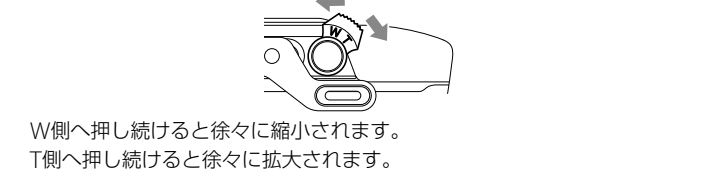
カメラの(再生)ボタンで撮影した画像を見ることができます。このとき音声は聞こえません。

1 **(再生)ボタンを押す。**

2 **コントロールボタン4、5を操作して、再生したい画像を選ぶ。**

コントロールボタン4を押すと、次の画面へ
コントロールボタン5を押すと、前の画面へ

3 **再生ズームレバーを操作して画像を拡大、縮小する。**

W側へ押し続けると徐々に縮小されます。
T側へ押し続けると徐々に拡大されます。

再生時、画面上のボタンは次の機能に変わります。

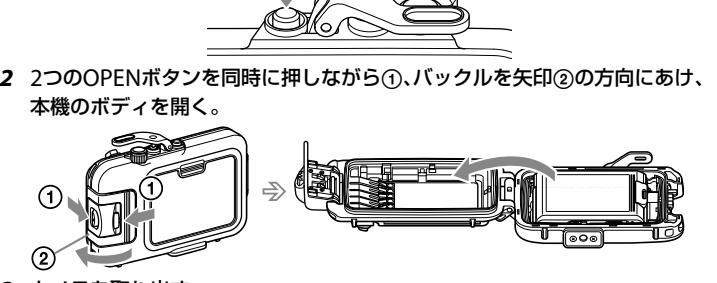
	コントロールボタン1	コントロールボタン2	コントロールボタン3	コントロールボタン4	コントロールボタン5
	(撮影モード)	(水中ホワイトバランス)	(フラッシュ)	(マクロ)	(画像サイズ)
静止画	削除	ワイドズーム 一時回転表示	–	画送り	画戻し
動画(停止)	削除	再生	–	画送り	画戻し
動画(再生中)	削除	停止	–	画送り	画戻し
再生ズーム中	↑(上移動)	→(右移動)	←(左移動)	↓(下移動)	BACK(戻る)
削除中	–	–	実行	終了	–

ご注意

他のカメラで撮影・記録した画像が"メモリースティックデュオ"内にある場合、カメラでの設定が必要になることがあります。詳しくはお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

デジタルスチルカメラを取りはずす

1 **電源を切る。**

カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。

2 **2つのOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にあけ、本機のボディを開く。**

3 **カメラを取り出す。**
長時間ご使用になったときは、カメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、カメラを取り出してください。

カメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

4 **カメラのハウジング設定を「切」にする。**

ご注意

本機を開ける前に、本機を水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってください。本機を開けたときに、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がカメラにかからないようにご注意ください。

ダイビングの前に

- ご使用前に必ず本機にて試し撮りをおこない、正常に再生できることを確認してください。
- 水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。
- カメラは、ダイビングの前にあらかじめ本機に取り付け、船上や海岸などでの本機の開閉は、できるだけ避けてください。カメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ない室内で行ってください。
- ご使用の前に、本機の前後のボディの間に異物のはさみ、ゴミがないかを確認してください。
- ご使用の前に、必ず撮影可能枚数、バッテリーの残量をご確認ください。
- 水中で撮影するときは、(水中)または(水中)をお使いになることをおすすめします。

撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、水中ビデオライトHVL-ML20M(別売)をお使いください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

□本機内部に水滴がつく
　→Oリングに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。
　→Oリングを正しく装着する。
　→バックルをカチッとロックされるまで締める。
　→充分に乾燥した乾燥剤を使う。

□撮影ができない
　→バッテリーを充分に充電する。
　→"メモリースティック デュオ"の残量がない場合、別の"メモリースティック デュオ"を入れる。または不要なデータを消す。
　→"メモリースティック デュオ"の誤消去防止スイッチを戻す。または別の"メモリースティック デュオ"を入れる。
　→カメラの温度が上がっていたら、カメラの温度が下がるまで涼しい場所に置く。

□撮影モード、水中ホワイトバランス、フラッシュ、マクロ、画像サイズボタンを押しても、モードが切り替わらない
　→タッチ1回目では現状設定が表示されるのみのため、設定が表示されている間に、もう1度ボタンを押す。

□色がおかしい(水中での使用時)
　→(水中)または(水中)に設定されているか確認する。
　→水中ホワイトバランスを確認する。